

2025年3月16日

「永遠の命を得るため」

ヨハネによる福音書 3:14-22

早川 真牧師

神は正しいお方であるゆえに罪を罰せずにおくことはありませんが、愛のお方であるゆえに罪ゆえに苦しむ人間をそのままにされることは決してありません。必ず罪から救い出すために道を備えてくださいます。そして、その過程を通して、人に命を得させてくださるお方です。

モーセが旗の先に掲げた蛇は、イエス・キリストの十字架を表していたと今朝の聖書の箇所は語っています。私たちが十字架を仰ぐとき、たとえ自分の罪のゆえに苦難の中にあっても命を得ることができます。そしてその命は、モーセの時代にイスラエルの民が青銅の蛇を見上げることによって得た地上の命ではなく、永遠の命です。

私たちの救い主であるイエス・キリストは苦難の十字架の死の後、復活することによって、永遠の命があることを私たちにはっきりとお示しになりました。そして神はこのイエス・キリストを信じる者に、ご自分の命であるこの永遠の命を与えると約束してくださっています。

イスラエルの民が歩んだ荒野の40年は長く苦しい期間でした。これは私たちの地上の生涯を表しています。しかし40年の荒野の旅を経てイスラエルの民が入った土地は非常に豊かな土地であったと聖書は証言しています。その地は神がご自分の民に幸せになってほしいと用意されていた土地でした。同じように神は私たちにも天の国という素晴らしい約束の地を用意しておられます。私たちはその地に入る時まで、イエス・キリストの十字架のもとに集い、主を見上げて永遠の命を得る者とされてまいりたいと思います。